

10/23(水)の発表



ウポポイ

NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

民族共生象徴空間

北海道白老町に2020 OPEN!

報道発表資料の配布日時 10月23日(水) 15時00分

発表項目 (行事名)	「令和元年度海獣被害対策功労者表彰」の受賞者の決定について	
概要	<p>北海道はトド等の海獣による漁業被害の軽減に尽力し地域漁業の振興に貢献した個人や団体の功績を讃えるため、海獣被害対策功労者表彰を贈呈しています。(平成27年度～)</p> <p>今般、令和元年度の受賞者(3名)を次のとおり決定し、知事感謝状を贈呈することとしましたのでお知らせします。</p> <p>○渡邊 勝春 氏(石狩湾漁協組合員、ハンター船船頭)</p> <p>○坂本 太 氏(トドハンター)</p> <p>○門脇 弥 氏(石狩湾漁協組合員、トドハンター)</p> <p>(伝達式)</p> <p>日 時：11月5日(火) 15:00～</p> <p>場 所：石狩市浜益区 石狩市役所浜益支所 応接室</p> <p>伝達者(予定)：石狩振興局長 佐藤 哲夫</p>	
参考		
報道(取材) に当たって のお願い		
他のクラブ との関係	同時配布 同時レク	資料同時配付：道政記者クラブ、水産記者クラブ
担当 (連絡先)	<p>水産林務部水産局水産振興課環境保全グループ 主幹(被害対策) 飯島昭仁 TEL ダイヤルイン 011-204-5469</p> <p>石狩振興局産業振興部水産課 水産振興係長 長内浩治 TEL ダイヤルイン 011-204-5842</p>	

## ＜令和元年度各受賞者の主な功績＞

### ○ 渡邊 勝春（わたなべ かつはる）氏

石狩市浜益区在住。

海獣被害が深刻化する中、石狩湾漁業協同組合の要請により、海獣被害防止活動を実施し、トドの来遊期には、漁業を中断して、もっぱら駆除活動に従事しており、地域の駆除体制を構築する上で、欠かすことの出来ない存在となっている。

特にハンター坂本太氏とは長年に渡りコンビを組んで、船頭としてトドの行動を熟知した操船により、坂本氏のトド採捕を補佐してきた。

また、揚収した個体は研究機関へ提供し、生態調査に活用されている他、関係機関の各種聞き取り調査にも積極的に応じるなど、被害対策を推進する情報・知見の集積に大きく寄与している。

### ○ 坂本 太（さかもと ふとし）氏

石狩市浜益区在住。

年々漁業被害が深刻化する中、漁業関係者でないにもかかわらず、石狩湾漁業協同組合の要請により、長年、海獣被害防止活動を実施しており、漁業被害の防止に大きく寄与している。

石狩市は平成26年9月に石狩市鳥獣被害対策実施隊を組織し、被害防止にあたっているが、坂本氏は、その中でも、長年培った狩猟経験により、特に高い射撃技術を有しており、毎年多数のトド採捕を行うとともに、若手ハンターへの助言、技術指導を行っている。

揚収した個体は研究機関へ提供し、生態調査に活用され、また、関係機関が実施している各種聞き取り調査にも積極的に応じるなど被害対策への功績は大きい。

### ○ 門脇 弥（かどわき わたる）氏

石狩市浜益区在住。

漁業に従事する傍ら、海獣被害が深刻化する中、石狩湾漁業協同組合の要請により、海獣被害防止活動を実施している。

石狩地区の漁業者ハンターの先駆けとして、21歳の若さで銃資格を取得し、経験を重ねて技術の向上に励んできた。

現在はリーダー的存在として、これまで培った経験から高度な射撃技術と海獣の生態に係る豊富な知見を有しており、それらの技術を駆使し、毎年多数のトド採捕を行い、漁業被害の防止に大きく寄与している。

関係機関の各種聞き取り調査にも積極的に応じるなど被害対策への功績は大きい。

また、父で同漁協組合員の門脇習也氏（平成27年本表彰受賞）が、北海道区水産研究所に協力して行ってきた強化刺し網の開発試験にも携わるなど、トド被害対策全般にわたって貢献しており、今後もさらなる活躍が期待されている。